

# 磐城日報

発行所 磐城日報社  
電話(呼)二〇三八番  
編集発行人 後藤幸夫  
印刷 八尾山徳平  
毎週水曜日休刊 購読料  
一ヶ月三十四円 一円

## 空気銃無届所持

違反者の多いのに驚く  
空気銃所持は無届だと悪い者は発見次第としくく處罰されにはやんと地方事務所に届出をなして、縣稅二所に届出をなして、縣稅二千余圓を納めその上で雀など野鳩を射つ事である。現在石城地は事務所に立派に届出をなして空氣銃を持つて居る者は僅かに數名。その他の多くは完全に無届となつており、これらは殆んどが雀位射つのに二千圓以上も税金を納める事は馬鹿／＼しいと思はれ、知事ながらの脱稅組である地は事務所林務課では無鑑札

## 「磐城毎日新聞」

### 來月初旬に發刊

市長系の新聞として活躍  
鈴木市長派の機關紙とも見平市の日刊は「いわき民報」から「磐城毎日新聞」が四月と本紙と「磐城毎日」の三紙となる譯で戦前の「磐城」を中心として朝刊として發刊された「磐城時報」常磐毎日、毎日の紙面は菊版四「新いわき」の四紙にくりかへして活字は九割寫眞版も入るとまた一紙が足りないといふ新しい型の發行振りこれで

## スト参加は

二万人を超える？  
スト第一波に参加した古河好間炭礦勞組外十勞組は十五日から第二波として四十八時間ストに突入する豫定であるが十四日の一番方からは常磐勞組がストを決定

## 縣消防團長會議

消防防協會平支部總會は決したが第一日は理事、の程開き二十五年度豫算を評議員會(市役所)第二日決定後縣消防團長會議を、は團長會議公會堂第三日四月二十二日から三日間、目は平、江名、小名濱等の消市公會堂で開催する事を可防訓練を視察する

## 頭部に

### 不義の子殺し

富岡町宇下郡山内水田を解割に附した結果頭部に用水堀で発見された身元不詳銃器よりのもので一撃を加明のえい見死体(生見八ヶ)の形跡があり他殺濃厚で月位の男(兒)につき十二日富岡町署では不義の子の始平檢察廳から江尻、森田兩末に窮し殺害したものともみ事務官が出張視察、死体で犯人捜査中である

## 選別炭第一回

四月廿四日に開廷  
配炭公園常磐支團炭礦事件炭商工業協同組合員ら數名の糸口をつくつた元選別石にかゝる石炭横流の物統違

## 縣青議濱通

俱樂部結成  
石城、双葉、相馬、平を合ひ濱通り福島民友、讀賣新聞主催青年會議議員の方部會合は十二日平市片寄議員宅に開催、縣青年會議濱通り議員クラブを結成来る定例會議には渡邊市長議員を議長候補として極力推すとを決議した

## タイヤ横流し

錦町大倉自動車修理販賣業門馬教一(四)は昨年十月より十數回にわたり東京都台東區長住町八八自動車製造會社から無切符でタイヤ、チニュー八百本を一組九百九十圓で買い受けこれを平地方で組二千圓以上で横流した事が判り十三日平地區署に逮捕された

## 濱通り町村長會

濱三郡町村長會長、各地方事務局長、事務局長の連絡會議は十八日午前九時から石城地方事務所を開く

## お詫び

三月十二日付本紙々面に掲載した市内乳製品小賣店中「四町目小野屋藥局」が脱落しましたので致しお詫びの上訂正致します

### 平市人 事

◇ 出生  
○ 谷口益雄さん長女貴子  
○ 鈴木秀夫さん長女三津子  
○ 若林貞雄さん二女順子  
○ 木村国一さん長男一男  
○ 木村国一さん長男一男  
○ やん四町目六一  
◇ 死亡  
○ 青木貞治さん(毛)鎌田九

### 本場自慢の霜降牛肉

豚最上肉 190圓  
豚總用肉 90圓  
夜間の御注文は 電話539番  
●一丁目……中央通り電話794番  
綠屋牛肉店

## 「磐城毎日新聞」

發起人總代 大和田與兵衛  
創立事務所 平市仲町二三 電話七二九番  
各方面多數の皆様から早く發行せよとの御聲援やら御請求を頂戴して感激と恐縮に堪えませんでした。が準備も進捗し來月中旬を以て愈々發刊する事に致しました。今更ら申すまでもなく眞實を傳える新聞として郷土色の体制を盛るを特色と致します。而も色眼鏡的の傾向は斷じて排撃するを信條とし紙面も可成大きいものと致します。切に御支援助と御指導とを御願ひして御期待にそいたいと存じます。右謹んで御報告致して置く次第であります  
昭和二十五年三月十三日

